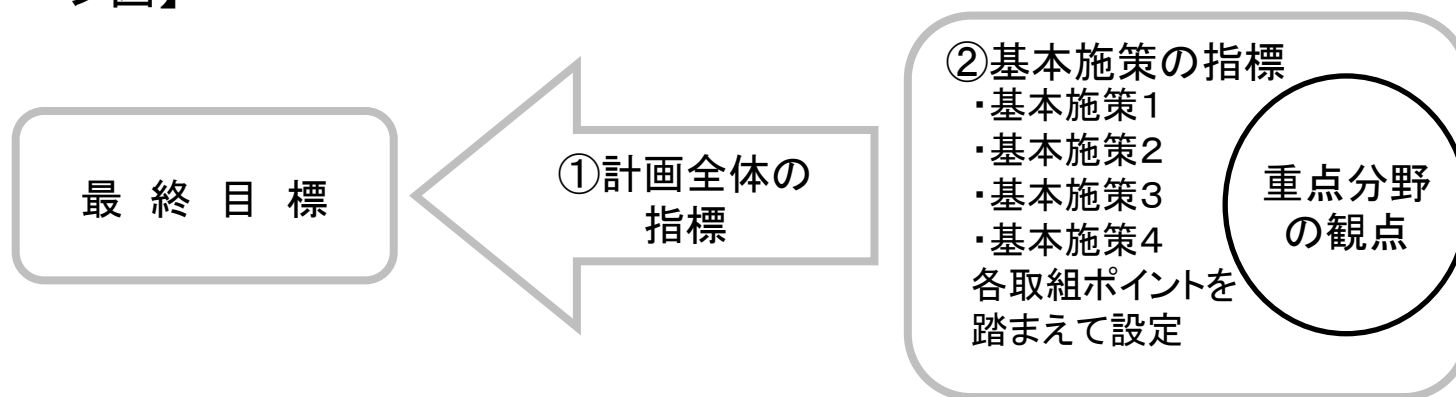


計画の最終目標及び指標(案)

1. 指標の設定について

1. 計画の推進によって目指す「最終目標」の達成状況を図るため、**計画全体の指標**を設定。
2. 計画に基づく各施策の推進状況等を確認するため、必要に応じて重点分野の観点を踏まえつつ、**基本施策の取組ポイントごとに指標**を設定。

【イメージ図】



②で各基本施策の取組状況や成果を計りつつ、①で計画全体の成果を計り、総合的に計画を評価

【指標の種類】

指標として計る項目ごとに「成果指標」と「取組指標」のいずれか適当なものを設定。

成果指標 … 取組の推進によってどのような成果が得られたかを計る指標

取組指標 … 目標の達成に向けて計画的に取組が進められたかを計る指標

計画の最終目標及び指標(案)

2. 計画の最終目標(案)及び計画全体の指標(案)①

「自殺」＝「社会的問題」のため、「誰も自殺に追い込まれないまち」が最終目標。
それを図る成果指標として「自殺者数」と「自殺死亡率」を計画全体の指標に設定。

【計画の最終目標(案)】「誰も自殺に追い込まれないまち」

自殺総合対策大綱における基本理念 <誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す>
⇒「自殺」＝「社会的な問題」であるため、「自殺に追い込まれない」社会づくりが最終的な目標。

【指標(案)】

指標		現状値 (平成29(2017)年)	目標値 (平成35(2023)年)
①	自殺者数(※1)の減少	33人	31人以下
②	自殺死亡率(※2)の減少	8.9	8.7以下

※1. 出典:警察庁の自殺統計データ

※2. 人口10万人当たりの自殺者数。年間の自殺者数(①)に対して、各年10月1日時点の人口を基に算出。

(参考:他計画における指標)

本市の健康増進計画(健康すいた21(第2次))の分野別取組「④休養・こころの健康」においても、
評価指標③として自殺者数が設定されている。

指標		現状値 (平成26(2014)年度)	目標値 (平成32(2020)年度)
③	自殺者数	45人	40人以下

計画の最終目標及び指標(案)

2. 計画の最終目標(案)及び計画全体の指標(案)②

【目標値の算出根拠】

各年の値の幅が大きいため、直近5年(平成25～29年)の平均値を基準にして、国の減少目標(平成27～38年の11年間で自殺死亡率30%減少)を勘案して設定。

●平成25～29年の自殺者数・自殺死亡率の推移及び平均値

	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平均値
自殺者数	40人	44人	35人	37人	33人	<u>37.8人</u>
自殺死亡率	11.2	12.2	9.6	10.1	8.9	<u>10.4</u>

※平成30年は9月末までの9か月間(暫定値)で自殺者数43人(年換算で約57人)

国の目標:11年間で30%減少 … 1年間で約2.72%減少

⇒平成29年(2017年)から平成35年(2023年)までの6年間で16.32%減少

自殺者数:37.8人から16.32%減少 … 約31.63人 ⇒ 目標値「31人以下」

自殺死亡率:10.4から16.32%減少 … 約8.7 ⇒ 目標値「8.7以下」

計画の最終目標及び指標(案)

3. 基本施策の指標(案)①

基本施策1:地域におけるネットワークの強化

- ア 幅広い相談・支援機関等が連携するネットワークの整備
- イ 自殺未遂の再発防止に係る連携の推進

【指標(案)】

取組を行った結果得られる成果を測定することが困難なため、関係者のネットワークの整備がされていることが確認できるような「取組指標」を設定。

指標		現状値 平成29(2017)年度	目標値 平成35(2023)年度	該当する 取組ポイント
①	ネットワーク会議(※)の開催回数	1回	2回以上	ア、イ
②	ネットワーク会議(※)の参加機関数	4機関	4機関以上	ア、イ

※吹田市自殺対策庁内会議実務担当者会議(旧:吹田市自殺対策ネットワーク会議)

(参考:現時点の参加機関)

- ①吹田市(市民総務室、人権平和室、男女共同参画室男女共同参画センター、地域経済振興室、子育て給付課、家庭児童相談課、生活福祉室、高齢福祉室、障がい福祉室、保健センター、総務予防室)、
- ②教育委員会(教育センター、青少年室)、③(社福)吹田市社会福祉協議会、④大阪府吹田保健所

【目標値の設定理由】

- ①各年において半期ごとの開催を想定。
- ②現状値以上に増加させることを想定。

計画の最終目標及び指標(案)

3. 基本施策の指標(案)②

基本施策2: 自殺対策を支える人材の育成

ア 職員に対するゲートキーパー養成の体系化

イ 地域において活動する市民等のゲートキーパー養成の強化

【指標(案)】

ゲートキーパー養成による具体的な成果は示すことが困難であるため、取組ポイントを踏まえたゲートキーパー養成研修が実施できていることが確認できるような「取組指標」を設定。

指標		現状値 平成29(2017)年度	目標値 平成35(2023)年度	該当する 取組ポイント
①	職員のゲートキーパー養成研修開催回数	2回	<u>3回以上</u>	ア
②	関係機関等のゲートキーパー養成研修開催回数	2回	<u>4回以上</u>	イ

【目標値の設定理由】

①新たに新規採用職員研修や、採用後年数、役職等に応じた研修として実施することを想定。

②重点分野である「子ども・若者」、「高齢者」、「勤労世代」を対象に各1回以上の実施を想定(※)。

また、医療機関・薬局等に対する研修についても実施を想定。

(※)「生活困窮者」については他の重点分野と対象者の重複があることや、取組を行う者が概ね職員であることから、目標値の設定根拠から除外して考えている。

計画の最終目標及び指標(案)

3. 基本施策の指標(案)③

基本施策3:市民への啓発と周知

ア 自殺対策に関連する幅広い分野における普及啓発

イ 自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)に合わせた全庁的な普及啓発

【指標(案)】

幅広い普及啓発に関する取組の推進が重要であることから「取組指標」を設定。

指標		現状値 平成29(2017)年度	目標値 平成35(2023)年度	該当する 取組ポイント
①	自殺対策の啓発媒体の設置箇所数(※)	4箇所	<u>197箇所以上</u>	ア
②	自殺対策の啓発情報の発信回数	2回	<u>12回以上</u>	ア
③	市民向けの自殺対策関連講座の開催回数	1回	<u>2回以上</u>	ア
④	自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)に合わせた全庁的な普及啓発	実施	継続実施	イ

(※)指標の値については、いずれも「吹田市」が実施する取組に限り積算。

【目標値の設定理由】

- ①現状の4箇所(市本庁舎、保健センター、保健センター南千里分館、教育センター)に加え、薬局(115箇所)、小・中学校、高校及び大学(計69箇所)並びに図書館(9箇所)への配布を想定。
- ②現状の2回(自殺予防週間(9月)及び自殺対策強化月間(3月))に加え、毎月の情報発信を想定。
- ③現状からの増加を想定。 ④現状の取組を引き続き実施することを想定。

計画の最終目標及び指標(案)

3. 基本施策の指標(案)④

基本施策4: 生きることの促進要因への支援

- ア 自殺対策の観点を踏まえた生きる支援の取組の推進
- イ 遺された者に対する支援

【指標(案)】(ア 自殺対策の観点を踏まえた生きる支援の取組の推進)

幅広い取組の実施による市民のこころの健康が維持されることが成果となるため、「成果指標」を設定。
⇒本市の健康増進計画(健康すいた21(第2次))の分野別取組「④休養・こころの健康」の評価指標を引用し、目標値については当該計画の目標値の考え方を踏まえ、それを引き続き延伸するよう設定。

指標		現状値 平成26(2014)年度	参考値(※) 平成32(2020)年度	目標値 平成35(2023)年度
① ストレスを常にかけている人の割合	男性	6.0%	5.4%以下	<u>5.1%以下</u>
	女性	9.5%	8.5%以下	<u>8.0%以下</u>
② 睡眠時間を規則正しく取れる人の割合		85.9%	86.2%以上	<u>86.4%以上</u>
③ 自己肯定感のある子どもの割合	小学6年生	79.1%	89.6%以上	<u>94.8%以上</u>
	中学3年生	65.6%	82.8%以上	<u>91.4%以上</u>

(※)参考値は、健康すいた21(第2次)における目標値。データの出典及び当該計画での目標値の考え方は以下のとおり、

- ①・・・出典:吹田市30歳代健康診査及び吹田市国保健康診査問診結果。目標値:現状値から10%以上減少。
- ②・・・出典:吹田市国保健康診問診結果。目標値:平成21年度～平成26年度の増加率(0.4%)。
- ③・・・出典:全国学力・学習状況調査結果。目標値:否定的回答(自己肯定感のない子ども)の半減。

計画の最終目標及び指標(案)

3. 基本施策の指標(案)⑤

基本施策4: 生きることの促進要因への支援

- ア 自殺対策の観点を踏まえた生きる支援の取組の推進
- イ 遺された者に対する支援

【指標(案)】

- イ 遺された者に対する支援

現状の取組がほとんどないため、今後の取組の推進状況を計るため「取組指標」を設定。

指標		現状値 平成29(2017)年度	目標値 平成35(2023)年度
①	自死遺族向けのリーフレットの配布	1箇所	5箇所以上

【目標値の設定理由】

保健センターに加え、自殺が発生した際に関係する機関、施設等に設置することを想定。